

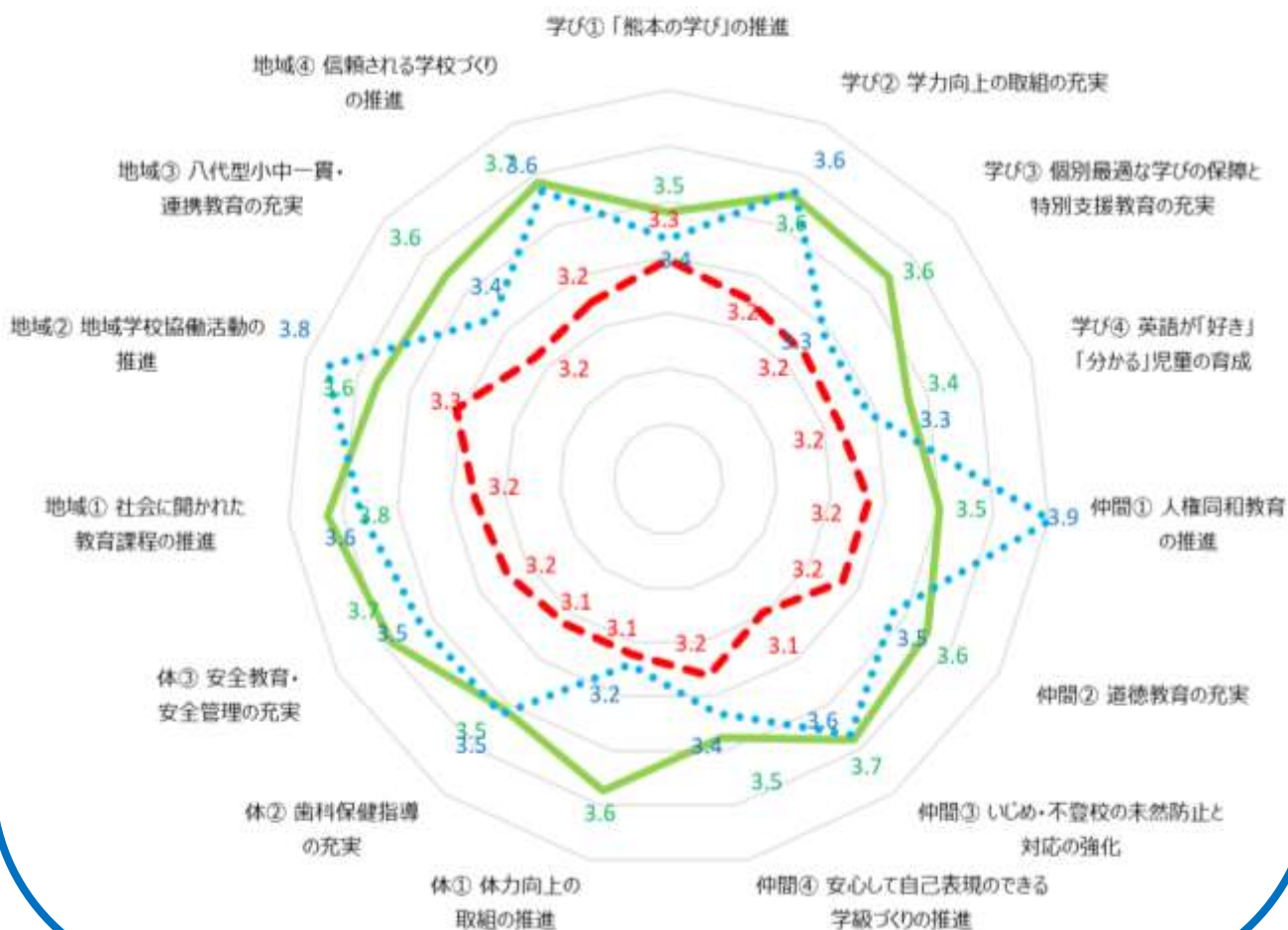


保護者の皆様におかれましては、12月に実施した学校評価アンケート回答へのご協力、誠にありがとうございました。本年度は、教育目標の具現化に向けて重点努力目標である15項目について、年間2回（7月・12月）のアンケートを行いました。後期については、以下のグラフのような結果となりました。

この結果を踏まえ、残り2ヶ月保護者・地域・行政のお力添えをいただきながら、児童の更なる成長を目指して教育活動の充実に努めて参る所存です。ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

R6 学校評価(後期)

— 児童 — 保護者 — 教職員 —



*各アンケート項目について、「とてもあてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の順に4～1点を配点し、平均を出しています。

アンケートの結果等を受け、残り2ヶ月以下の4点を重点的に取り組みます。

学び①「熊本の学び」の推進



「なぜ？」を大切に！

- ・問いが生まれる導入の工夫
- ・効果的なICT活用
- ・授業と家庭学習の繋がりを重視

【5年理科の授業にて】

児童が何を学ぶのか、何が出来るようになるのかを明確にし、主体的・対話的な学びの場の設定等、さらなる授業改善に努めます。

仲間① 人権同和教育の推進



自分も友達も大切に！

- ・日常の振り返り
- ・縦割り班活動
- ・性教育月間
- ・給食週間

【児童玄関 人権コーナー】

食育や性教育に係る授業等を通して、包括的に人権について考える場を設けます。児童の主体的な活動の場も工夫します。

意見・要望等	対応等
学校からの配布物(学級通信など)白黒印刷で、写真が載っていても全く分からない。去年まではカラーだったのに非常に残念でならない。わが子が写っているのかもわからない。	配付物に関しては、予算の関係もありますのでなかなかすべてをカラー印刷にすることは困難な現状であることをご理解いただければと思います。学校便りに関しては、先日お知らせしましたとおり、紙媒体での配付をやめて配信しています。本校ホームページでは、個人情報に配慮しながら学校での様子を公開していますので、そちらもぜひご覧下さい。
柔軟な子供達にとって身近な大人の人権感覚が大きな影響を与えることを自覚した言動を望みます。	人権感覚は、差別をしない・させないためのベースとなるもので、子供からお年寄りまで、またどんな職業の人にも大切です。当然、私たち教職員も人権に関する研修を繰り返し行っています。今回のご意見を真摯に受け止め、再度それぞれが自らの言動を振り返ります。
<p>先生方にはいつもお世話になり、感謝しています。今回のアンケート、写真付きでわかりやすく、回答しやすかったです。しかし、同時に形式重視の一方通行のような印象を感じてしまいました。</p> <p>最近の子どもたちの様子を行事の中で拝見し、挨拶や返事、発表時に元気がなく、残念ながら聞こえないことが多いです。私たち保護者だけでなく、発表を一緒に聞いている子どもたちも同じのようです。せっかく発表をしているのに、残念です。また、校内で校長先生とすれ違い挨拶をしても、そのまま素通りされる事が何度かありとても残念な気持ちです。これでは子どもたちも挨拶を大切にできないのではないのでしょうか。先生方がお忙しいのは重々承知しています。これから成長していく子どもたちです。挨拶や相手に伝わるように話すことは進学しても社会に出てとても大切な事ですし、家庭でも大切に伝えてきています。</p> <p>自分の意見を自信を持って発表する、笑顔で元気よく挨拶を交わすことが、生きる喜び、活力になると思っております。子どもたちが生き生きと学校生活を楽しめるよう、切に願います。</p>	<p>評価アンケートの形式については、今後も改善を図っていきたいと思います。</p> <p>挨拶や返事、発表時の声の大きさなど、ご指摘のとおり、未だ個人差もありますし、学校の取組としても工夫していかなければならない課題の一つです。PTAでも「ありさ運動」を進めていただいていますし、八代市教育委員会も八代市全体の課題として捉えて啓発をされています。今後とも学校教育と家庭教育、社会教育との連携を図っていく所存です。</p> <p>また、校長個人の失礼な態度については深く反省し、学校長としてさらに自覚を持って精進いたします。</p>

他にも感謝のお言葉等いただいておりますが、誌面の都合上割愛させていただきます。
貴重なご意見や励ましのお言葉、有り難うございました。

